お知らせ

本教会へ初めて来られた方々を
心から歓迎いたします。
「毎月最初の主日には聖餐式を行います。」

教会の働き

✨野外ピクニック礼拝のお知らせ✨
今年のゴールデンウィーク、神さまの創造された自然の中で共に礼拝をささげ、楽しいひとときを過ごしましょう。
🌞【日時】2025 年 5 月 6 日(火・祝) 午前 10 時～
🌳【場所】野底山森林公園
🍖礼拝、バーベキューパーティーや宝探しゲームなど、大人も子どもも楽しめる企画が盛りだくさん！
🧺ご家族・お友だち・どなたでも大歓迎です！
ぜひお気軽にご参加ください。

■ 信州祈り会は、5 月 12 日(月)佐久ホープチャペル(村山 清門先生)にて開催される予定です。
■ 今日夕方賛美礼拝の後教会の牧会会議があります。
■ キュウリキムチを作りました。主の恵みを分かち合う一つの機会として、ぜひ伝道にご活用ください。
■ 来週の礼拝は、父母の愛に感謝をささげる「父母の主日礼拝」として共に守ります。

聖徒の為に祈りましょう。

・コロナとインフルエンザから守られますように。
・施設に入られている方々の生活が守られる為に。
・YouTube ライブで、礼拝している教会と聖徒の皆さんの為に。(大阪ホームチャーチ、相模原の佐々木こずえ執事の家庭など)

聖 餐 式

賛 美　　讃美歌 205
式 辞
聖 書　　マタイの福音書 26:26-29
　　第一コリント 2:23-29

招きの言葉

愛する聖徒の皆さん、救い主イエスキリストを信じ、洗礼を受け、キリストのものとしてふさわしく生きることを願っている者は、全てのこの聖餐に招かれています。いずれの教会員であっても同じ信仰を告白している方は、共に陪餐されますように。まだ、信仰を告白しない、洗礼を受けていない方は、聖餐を受けることは控えるべきであります。救い主イエスキリストを信じて、信仰告白し、洗礼を受け、聖餐に預かる日が一日も早く来るように祈ります。

祈 祷（悔い改めの祈り）
分 餐
パンの分餐
ぶどう酒の分餐
祈 祷

週報 2025-18 号　　2025.5.4

**神の国とその義を
第一に求める**

子供主日礼拝

宗教法人 イエス・キリスト

飯田福音教会

395-0807 飯田市鼎切石 3883-4
TEL 0265-56-8286
www.iidahc.com

牧 師　柳 承吉(ヤナギ ショウキチ)
副牧師　柳 智愛(ヤナギ チエ)

主日礼拝　　AM 11:00～

賛美リード　　柳澄香

信仰告白　　(使徒信条)

代表祈祷　　松島スヤンティ

特別賛美　　インマヌエル聖歌隊

教会学校子供たち

お知らせ　(子供祝福の祈りとプレゼント)

聖書個所　　創世記 37:3

メッセージ　　柳 承吉牧師

(私の子どもは何を食べて生きているのか？)

聖餐式　　讃美歌 205

賛　美　　神の家族

祝　祷　　柳 承吉牧師

夕方賛美礼拝　　PM 2:20～

賛美リード　　柳澄香

代表祈祷　　高木はつ江

聖書個所　ヨハネの福音書 4:24

メッセージ　　(礼拝とは 2)　　柳 承吉牧師

主の祈り

野外礼拝　　AM 10:00～

司　　会　　韓芽唯

代表祈祷　　北原明子

特別賛美　　賛美チーム

メッセージ　　柳承吉牧師

主の祈り

今週の御言葉

私の子どもは何を食べて生きているのか？

（創世記 37 章 3 節）

I. 人は何を食べて生きているのか？

教育心理学で知られている「ピグマリオン効果」という論があります。親が子どもに愛と祝福の言葉をかけ続けると、その言葉通りに子どもが変わっていくのです。 人の信念や期待が現実になることを示しています。

ジョン・ロックは「子どもは白紙のような存在であり、親や教師の言葉によって人生の絵が描かれていく」と述べました。

今日の聖書の主人公はヨセフです。 聖書には「神がヨセフと共におられた」と繰り返し記されています。 父ヤコブは常にヨセフを祝福し、「神があなたと共におられる」と語りました。人は祝福の言葉を食べて生きる。

ヨセフが着ていた色とりどりの衣は、父が彼を愛していた証です。これは「愛の衣」を着て生きることを象徴しています。人は愛を食べて生きる。

ヨセフは夢見る少年でした。 彼は夢を食べて生きていたのです。人は夢を食べて生きる。

II. 私の子どもは祝福の言葉を食べて生きる

神は人間を創造し、他の被造物にはない「言葉を話す力」を与えました。 人はその言葉で人生の家を建てていくのです。箴言には「人は言葉によって自分の家を建てる」という内容が 120 節もあります。箴言 18 章 21 節には「死と生は舌の力にある」とあります。

人の人生は舌の力、つまり言葉にかかっているのです。

III. 私の子どもは愛の衣を着て生きる

当時の人々は大きな布に首を通し、腰帯で締めて服としていました。 しかし、ヨセフは父母の愛によって色とりどりの衣を着せられました。 これは王子や王女が着る服であり、愛の衣を象徴しています。人は愛を食べて生きるのです。子どもは親の愛を食べて生きるのです。

親の涙の祈りは決して無駄になりません。 愛には過剰がないのです。

IV. 私の子どもは夢を食べて生きる

ヨセフは「夢見る　少年」でした。 彼は夢を食べて生きていたのです。私たちの子どもたちも夢を食べて生きます。 教会は夢を売る場所です。 神が共におられるという夢を持ち、神に用いられる人になるのです。
神は夢見る子どもを用いられます。 夢を通して祝福し、その夢を実現させてくださいます。

神は夢見る人を用いられるのです。
「私は祝福の言葉を食べて生きる」

次週礼拝奉仕者

主日礼拝	賛美リード	代表祈祷	受付案内
主日礼拝	韓芽唯	平澤寿子	北原明子
賛美礼拝	韓芽唯	熊谷茂美	
水曜礼拝	北原孝子	柳澄香	